

(通巻第23号)

2016年度事業報告書

 社会福祉法人 サンフレンズ

目 次

I 法人の理念と運営方針	1
1. サンフレンズの理念		
2. サンフレンズの運営方針		
II 2016年度 法人全体の年間事業報告	2
III 職員に関すること		
1. 人数・平均在籍年数・平均年齢	4
2. 採用試験実施回数・採用人数	4
3. 資格保有状況	5

I 法人の理念と事業の運営方針

社会福祉法人サンフレンズの理念と事業の運営方針は、次のとおりです。この理念と事業の運営方針に沿って、法人を運営します。

1. サンフレンズの理念

(1) できるだけ自由に

・・・画一的、管理的にならず、一人ひとりがその人らしく生きられる。

(2) どこまでも対等に

・・・一人ひとりの人権を尊重し、すべての人が上下関係でなくつきあえる。

(3) 他者への思いを生かし合う

・・・地域社会でともに生きる人々との連携、地球環境、平和への願いを大切にする。

2. サンフレンズの運営方針

(1) 利用者のプライバシーと自立を尊重し、自己実現を助けることを一人ひとりの立場に立って行います。

(2) 利用者、家族、ボランティア、職員、理事がお互いの立場を尊重し、民主的運営を行います。

(3) 他のグループや世代間の交流を図り、生活の質を高め、地域の福祉文化の拠点となることをめざします。

Ⅱ 2016年度 法人全体の年間事業報告

(1) 健全経営

今年度の決算予想も昨年同様予算額に対して未達となり、収入未達分を支出の抑制により調整をし、事業活動収支は黒字を維持しました。職員の賞与も予算どおり3カ月支給をすることができました。予算の精度が未だ低いことも含め、次年度の予算作成においては達成するための具体的な見通しを各所属長と確認をしながら進めていきます。

買い替えの時期を迎えた設備機器類も予算に計上しておりましたが収入面で予算達成の見通しが立たないことにより、次年度に購入を見送ったものもあります。設備機器の更新は利用者サービスに関わるので次年度については優先順位を決め執行をするようにしていきます。

経営に関わる大きな変化については、和田拠点の訪問介護事業所を廃止し、新たな事業としてケア24和田の受託が決定しました。和田ふれあいの家食堂を事務所として改修し、次年度より事業を開始します。それに伴い、和田ふれあいの家も定員変更し、次年度は26名定員で事業を行うことになりました。

社会福祉法人制度改正に伴う移行作業は予定通り完了することができました。

引き続き、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革を進めていきます。

(2) 地域貢献

社会福祉法人制度改正に伴う地域貢献のあり方について、杉並区の他社会福祉法人と杉並社協が幹事となり「社会貢献事業の地域ネットワークづくり連絡会」を立ち上げました。今年度はいくつか絞込んだ地域ニーズについて、緊急度、優先度、その他の要素を加味しながら連絡会として検討をしました。

具体的な社会貢献事業については次年度以降に取り組むこととなります。

今年度、一般社団法人化したSOS事業とは事業協定を結び、SOS事業を杉並区民に認知してもらう広報活動について特に重点を置いて取り組んでいきました。

(3) 利用者サービスの向上

今年度、ふれあいの家利用率向上とサンフレンズ善福寺経営改善の二つのテーマで各々プロジェクトを立ち上げました（仮説検証プロジェクト）。

ふれあいの家の仮説検証プロジェクトにおいては他事業所の成功例を共有し、自事業所で提供する新たなサービス提供について検討していきました。

他法人の事業所の成功例に学ぶという取り組みについては、富山県にある「こ

のゆびと〜まれ」に4名の職員を派遣し、地域共生型デイサービスについて学ぶ機会を設けました。研修に派遣した職員と他職員との情報共有をするため、職員の集いにおいて研修報告会を開催しました。

サンフレンズ善福寺の仮説検証プロジェクトは4ユニットの増床計画について検討をしました。杉並区とも協議をした結果、現入居者の生活に支障を来さないことを前提として前向きに検討をしていくこととなりました。

第三者評価については、上井草園・サンフレンズ善福寺・永福ふれあいの家・松ノ木ふれあいの家の4か所が受審しました。受審結果については各事業所で職員と共有をし、仮説検証プロジェクトの検討の際にも反映をしていきます。

(4) 人材確保

今年も、新卒対策として就職ナビを活用し、就職フェアへの参加も積極的に実施をしていきました。その結果、新卒での内定者を12名出すことができました。内定者懇親会を4回開催し、内定者へのサポートも行った結果、内定辞退は3名となり、9名の内定者が就職に結びつきました。今年度は中途入社2名も含め、11名の新規職員の採用を行うことが出来ました。

職員の離職防止・安定的確保のための効果的な処遇改善策の検討については、手当等の見直しを行い、新たに資格手当や子ども手当など増やしました。引き続き、職員に魅力ある給与制度を検討していきます。

今年度より開始したステップアップ制度については、個人目標シート、人事考課表の作成等、職員参加型でプロジェクトチームをつくり、書式を作成しました。

下半期から作成した書式に沿って、制度の運用を本格稼働させています。評価を今後、給与にどのように反映していくかについては、2年間の猶予期間を設けて引き続きコンサルタントに入ってもらいながら検討をしていきます。

各事業所での実習生の年間受け入れ実績も延べ1,000人を超え、将来の社会福祉人材の育成、高齢者福祉に対して理解のある人材の養成に努めました。

職員確保のための新たな方策として次年度、サンフレンズで介護職員初任者研修事業を実施するための準備を進めました。

Ⅲ 職員に関すること

1. 人数・平均在籍年数・平均年齢について

2017.3.31現在の職員状況についてご報告いたします。

	人数	平均在籍年数	平均年齢
常勤職員	104人	8年2ヶ月	40.8歳
非常勤職員	180人	7年5ヶ月	56.0歳

2. 採用試験実施回数・採用人数について

2017年度に開催した職員採用試験の状況についてご報告いたします。

職員採用試験実施回数	受験者数	採用人数
------------	------	------

3. 資格保有状況

2017. 3. 31 現在の職員の資格保有状況についてご報告いたします。

(2017 年 3 月 31 日現在)

区 分	特別養護老人ホーム		通所介護					計
	上井草	善福寺	上井草	和田	和泉	松ノ木	永福	
総職員数	56	31	33	21	19	20	44	224
(内訳)								
介護福祉士	18	12	12	5	4	8	12	71
実務者研修		2				2		4
初任者研修		1	1	1			1	4
介護職員基礎研修	2	3				1		6
1級ヘルパー					2	2	2	6
2級ヘルパー	19	7	7	7	4	8	18	70
社会福祉士	6	4	3	3	3		1	20
精神保健福祉士								0
保健師	1							1
看護師	5	2	2	3	2	3	2	19
准看護師	1				1		1	3
(管理)栄養士	1	4				2	1	8
調理師		1			1	1		3
理学・作業療法士	1	1	8					10
マッサージ師								0
介護支援専門員	6	4	4	1	3	4	1	23
合 計	60	41	37	20	20	31	39	248

※ 短時間職員含む。重複して資格を持つ者はそれぞれにカウント。

発行日 2017年5月

社会福祉法人 サンフレンズ

「2016年度事業報告書」

法人事務局

〒167-0023

東京都杉並区上井草3丁目33番10号

電話 03-3394-9833

FAX 03-3394-9834

ホームページ <http://www.3friends.or.jp/>